

# うらはま

- すすんで学ぶ子
- 思いあう子
- 元気な子

## 自己新記録に挑戦 校内持久走大会

12月2日（水）穏やかな天候に恵まれ、体力づくりの成果を確認する校内持久走大会を実施しました。

4月からはまっ子マラソン・ジャンプで対馬1周をめざし、一人一人めあてを持って取り組んできました。この8か月間で速く長く走れるように伸びてきました。

子どもたちは、昼休みから身体をほぐして走りに備えました。開会式が始まる頃には保護者やご家族の皆さんも集まりました。

開会式、準備運動の後、14時5分から1・2年生がスタート。たくさんの声援を受けて600mを駆け抜けました。続いて3・4年生がスタートし、800mを全員完走しました。最後に5・6年生が運動場5周の1000mを全員完走しました。

全員の個人最高記録が黒板に明示されていたので、その横に大会での記録が記入されました。

自己新記録に挑戦する大会でしたので全員が一生懸命走り、3分の2の児童が新記録や対記録を出すことができました。後日、記録証を全員に配付しました。

走り終わってから、PTA母親委員会の皆さんが作られたぜんざいを美味しくいただきました。前々日、5・6年生が保護者といっしょにつくった餅を入れてもらいました。温かいぜんざいはとても美味しく、お代わりをする児童も多くいました。母親委員会のみなさんありがとうございました。

閉会式では、成績発表を行い、がんばった児童を褒め称えました。



## 5・6年生ディサービスセンターしらたけ訪問

12月1日（火）5・6年生が総合的な学習の時間に福祉について学習を深めるため「ディサービスしらたけ」を訪問しました。お年寄りや体の不自由な人に優しく接する姿がたくさんありました。

学習のめあてを「お年寄りを笑顔にしよう」して取組、歌や演奏、踊りなどを披露しました。皆さんからたくさんの拍手と笑顔をいただきました。

お年寄りの笑顔が自分たちの喜びにつながった訪問学習でした。

## 3・4年生社会科見学

12月3日（木）3・4年生が社会科見学を実施しました。はじめにスーパーサイキでスタッフさんの仕事を見学しました。商品の袋詰めやレジ打ちも体験しました。クリーンセンターでは対馬のゴミ処理について詳しく学習できました。漁り火公園での昼食の後、対馬歴史民俗資料館を見学しました。学校で学習したことをさらに深く知ることができました。最後の万松院では宗家の墓や樹齢1200年の杉の木を見学しました。徳川家の位牌や朝鮮通信使からの献上品なども知ることができました。



## 1月の行事

- 1日（金）元日
- 4日（月）御用始め
- 8日（金）始業式・書初大会
- 11日（月）成人の日
- 13日（水）授業参観・懇談会  
校内書道展～15日
- 15日（金）体力づくり記録会
- 17日（日）家庭の日
- 18日（月）委員会活動
- 20日（水）ALT交流学习
- 25日（月）代表委員会 集金日
- 28日（木）薬物乱用防止教室

# 美津島町少年の主張大会

12月6日(日)美津島文化会館で平成27年度美津島町少年の主張大会・中学生英語発表会が開催されました。学校代表の主張を掲載します。



対馬の宝物ツシマヤマネコ  
優秀賞 5年 原田 蓮華

私たちの住んでいる対馬には、たくさんのおよそや自慢があります。まずは豊かな自然に囲まれていることです。対馬の山には、対馬にしか自生しないオウゴンオニユリ、ヒトツバタゴ、ゲンカイツツジ等の貴重な植物がたくさんあります。また、新鮮な魚介類も豊富です。対馬ならではの、おいしい食べ物もあります。肉厚が自慢のどんこしいだけ。そば粉百パーセントの対州そば。郷土料理のいりやき。そして、今年のB1グランプリで、準優勝を獲得したとんちゃん。

そして、忘れてはいけない存在が、ツシマヤマネコです。おみやげ売り場には、ツシマヤマネコTシャツやストラップ、おかしやお酒、食器など、ツシマヤマネコグッズがたくさん並んでいます。また、ツシマヤマネコ米、ツシマヤマネコ空港等の名前にも使われていて、対馬の象徴になっています。

ツシマヤマネコを育てている所もあります。野生生物保護センターです。ヤマネコセンターとも呼ばれています。

私は、今年の夏休みに、学校で「ツシマヤマネコ保全事業」に参加し、センターに行きました。そこには、ツシマヤマネコの他に、アカネズミやヒメネズミ、ウナギ等もいました。ヤマネコのもけいやクイズ等もあり、楽しく学ぶことができました。このヤマネコセンターには、対馬内外や韓国等から、一年間に、約一万三千人もの人達が訪れるそうです。

このように、ツシマヤマネコは、対馬の観光を支えたり、対馬の知名度を上げたりして、対馬に大きく貢献していることがわかります。そんなツシマヤマネコが、今絶滅の危機におちいっていることを皆さんは知っていますか。そしてその理由を。

私は、ツシマヤマネコ保全事業で、それを知りました。ツシマヤマネコは、この十年間で約十頭ほど減り、現在は、七十頭から百頭ぐらいいかないそうです。

その理由の一つは、ヤマネコのえさやすみかが減っているからです。それだけではなく、えさを求めて道路に出てきたヤマネコが交通事故にあい、命を落としているのです。私は、このままではいつか本当にツシマヤマネコがいなくなってしまうのではないかと不安になりました。

学習会の後、私たちは、上県町の田の浜地区の田んぼに行きました。ヤマネコのえさになる生き物を見つけるためです。田んぼには、ドジョウやカメ、メダカやヨシノボリ等、いろいろな生き物がたくさんいました。とろんこになってつかまえる友達もいて、とても楽しかったです。その生き物は学校に持ち帰って今も育てています。

私は今まで、田んぼは米を作るためだけにあると思っていました。しかし、こんなにたくさんのおよそ物のすみかになっていたことを初めて知りました。まるで田んぼは、ごちそうがいっぱいの自然のレストランです。

私は、この体験を通して、ツシマヤマネコを守るために大切なことや、自分達にできること等を考えてみました。

まず一つ目は、田んぼを守っていくことです。そして、田んぼでお米を作っている人達に感謝の気持ちを持つことです。

二つ目は、ヤマネコのすみかである山をきれいにすることです。道路の脇や草むら、山の中などに、空き缶やごみ等が落ちているのを見たことがあります。山や草むらはゴミ箱ではありません。動物達の大切なすみかです。対馬の自然は、対馬のみんなで守っていくべきだと思います。

三つ目は、車を運転する人達へのお願いです。ツシマヤマネコの交通事故を防ぐために安全運転を心がけてください。

対馬に住んでいる私達は、ツシマヤマネコに感謝しなければいけません。そして、絶対に絶滅させない努力をしていかなければいけないと思います。ツシマヤマネコは、対馬の大切な大切な宝物なのですから。



自然と向き合って生きていく  
入賞 6年 小茂田詩音

みなさんが、この世の中で「こわい」と思うものは何ですか。

「ザーザー。ヒュー。」  
これは、今年の九月一日。いつも通り朝食を食べていると、テレビで対馬のことが報道されているのを目にしました。「対馬で五十年に一度の大雨」

夜中から大雨が降り、午前三時頃から私の家の周りにも水が流れこんできました。

始業式の朝、私は元気よく玄関を出ました。すると、いろいろなところがゴミがちらばっていたり、道路のいたるところがどろまみれになっていたりと、いつもとは違う光景が広がっていました。そして、

「かわいそうに。」  
と、二人のお年寄りが話している声を耳にしました。「何かあったのかな。」と、私は少し心配になりました。

この日は、家の中が浸水したり、じゃ口から出てくる水が泥水だったりした地区もあったそうです。被害が大きく、二学期の始業式を開くことができない学校もあったそうです。

下校後、私は、自分にできることを考えて、家の周りのゴミを拾うことにしました。祖母は買い物に出かけていました。父は、海で行方不明になった同じ地区に住む人を探しに行っていました。対馬でイカ釣り漁船が竜巻に巻き込まれて五せきも転覆していたのです。私は、父が探しに行っている間、「見つかったかなあ。助かってほしいなあ。」と、願っていました。しかし、悲しいことに数名の人たちが竜巻で大切な命を落としてしまったのです。その中には、父がさがしに行っていた、私の顔見知りの人もいました。私の祖母は、

「かわいそうに。まだ若いのに。」  
と、言っていました。

もしかしたら、登校中に聞こえてきたお年寄りの「かわいそうに」という声は、このことを言っていたのかもかもしれません。

私が、この世の中で一番「こわい」と思うものは、自然災害です。自然災害は、いつ起こるかかわからないし、人の力ではどうすることもできないからです。そして、誰も責めることはできません。

今回の対馬の大雨で被害があった地区には、総勢二百名ほどのボランティアのみなさんがかけつけたそうです。私は、そんな地域性の高い地元、対馬はすばらしいと思います。

そこで、私は、自分にもできることを考えてみました。

一つ目は、募金活動です。私の学校では、毎年、募金活動をしています。私は、最高学年として、ただ、「募金をお願いします。」

と呼びかけるだけではなく、みんなに自然災害のおそろしさやかけがえのない命を落とすことの悲しさなどを伝えたいと思います。

二つ目は、ひなん訓練に真剣に取り組むことです。地震や津波、火災が起きたとき、もし、ひなん訓練をしていなかったら、私は頭の中がパニックになって、その場から一歩も動けないでしょう。「こわい。」と言っておびえているでしょう。ひなん訓練は、かけがえのない命を守るための訓練なのです。

でも、自然は、おそろしいことばかりではありません。私が泳ぐのが得意なのは、身近に美しい海があるからです。私の地域で自慢の真珠がかがやくのもこの海のおかげです。サザエやウニなどの美味しい海の幸もとれます。山では、木登りをしたり、ロープをつるしてブランコをつくったりして遊んでいます。四季をいろいろ対馬の山は、とても美しいです。このように、私たちは、自然の恩恵を受けて生きていることを忘れてはいけません。

私は、自分が今ここに生きていることに感謝して、自分の命を大切にしていきたいです。そして、自然と向き合って生きていきます。